

平成 21 年 4 月 15 日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2006～2008
 課題番号：18530642
 研究課題名（和文） ベトナムのソーシャルワーカー養成における現状理解に関する基礎的研究
 研究課題名（英文） Fundamental study on current understanding in social worker training of Vietnam
 研究代表者
 向井 啓二（MUKAI KEIJI）
 種智院大学・人文学部・准教授
 研究者番号：20319453

研究成果の概要：2004年よりベトナムで開始されているソーシャルワーカー養成がどのように進められているのか、現地の高等教育機関（4年制大学・短大）のヒアリング調査を実施し、カリキュラム等を通して理解することに努めた。その結果、大学・短大によっていくつかの相違があること、「社会福祉」をさす用語にベトナム南北により違いがあること、養成されはじめているソーシャルワーカーは、日本でいう「ケースワーカー」に近いものであることなどが理解できた。

交付額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	1,100,000	0	1,100,000
2007年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2008年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
総計	3,200,000	630,000	3,830,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会福祉学

キーワード：国際社会福祉

1. 研究開始当初の背景

(1)ベトナムにおけるソーシャルワーカー養成がすでにベトナム戦争中から開始されていたことをゲン・チ・オアン氏の論文で知ったこと。

(2)2004年から新たにソーシャルワーカー養成が始められており、その動向を理解することが、国際福祉研究にとって意義のあることだと考えたこと。

2. 研究の目的

本研究の目的は、アジアの開発途上国である社会主義国ベトナムで現在進められているソーシャルワーカー養成の展開過程を、ワーカー養成に至る経緯に関する政府決定文書等の文献・資料の調査収集、ワーカー養成に携わる大学での実態調査、各施設でワーカーとして働く職員の実態調査を通じて明らかにすることである。

3. 研究の方法

- (1) ソーシャルワーカー養成を行っているベトナムの4年制大学・短大にヒアリング調査を実施し、どのようなカリキュラムによりワーカー養成を行っているかを確認すること。
- (2) カリキュラムの相違があれば、その理由は何故生じたのかを様々な条件を考慮し、考察すること。
- (3) 可能な限り、社会福祉施設でワーカーの実務を調査すること。

4. 研究成果

- (1) 現在進められているソーシャルワーカー養成がおおよそ日本でいう「ケースワーカー」の養成に近いことが理解できた。
- (2) ベトナムの南北で「社会福祉」をさす言葉に違いがあり、南では「アンシン・サーホイ (An Sinh Xa hoi)」といい、北では「フックロイ・サーホイ (Phuc loy Xa hoi)」と言うこと。内容上は、日本の社会福祉概念に近いものは、南部の「アンシン・サーホイ」であることが理解できた。
- (3) ベトナムのソーシャルワーカー養成の第1人者であるグエン・チ・オアン (Nguyen Thi Oanh) 氏から直接ヒアリング調査ができたことで、どのような推移でワーカー養成が開始されたかを確認できたこと及び現状の養成についても理解不足により、氏が考えるワーカー養成ができていないことが確認できた。
- (4) 現在養成されているソーシャルワーカーとは別に、施設職員として勤務している社会福祉従事者をワーカーと位置づければ、彼らに対する現任者研修などで再教育する必要があること。
- (5) 本研究は、ベトナムのソーシャルワーカー養成に関するはじめての調査研究であり、国際福祉研究の地域研究の1つとして位置づけられ、国際福祉論研究の上で成果をあげることができたと考える。
- (6) 今後の研究課題としては、ベトナムの社会福祉が民間施設主導で進められている関係で、民間の施設で勤務している社会福祉従事者、ワーカーについてより詳しく知る必要があること。施設で進められている社会福祉実践 (社会サービス) は、その施設だけで完結し、他の施設との連携協力はほとんどなされていないことから、この面での連携・協力作りを進めていくようアドバイスが可能であればしていく必要がある。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 5 件)

向井 啓二ベトナム教育史素描()、種智院大学研究紀要第8号、40 - 59 .2007年、査読無

向井 啓二現在のベトナムにおける女性問題、仏教福祉学第15・16号、179 - 196 . 2007年、査読有

向井 啓二(翻訳)ベトナムの社会福祉発展における人的資源とトレーニングの必要性、日本ベトナム障害児教育・福祉研究第6号、99 - 105 . 2008年、査読無

向井 啓二ベトナムのソーシャルワーカー養成カリキュラムについて、仏教福祉学第17号(2009年4月現在未刊行) 査読有

向井 啓二現代ベトナム仏教と仏教系社会福祉施設の実情、密教学研究第41号(2009年4月現在未刊行) 査読無

〔学会発表〕(計 2 件)

向井 啓二現代ベトナム仏教と仏教系社会福祉施設の実情、日本密教学会第41回学術大会、2008年10月10日、総本山金剛峯寺・高野山宗務所

向井 啓二ベトナムの高齢化と高齢者福祉に関して、アジア高齢者研究会設立集会、2008年11月12日、キャンパスプラザ京都・第1会議室

〔図書〕(計 2 件)

向井 啓二ベトナムスタディツアーと国際理解教育、82 - 96 藤本 文朗・藤井 克美・黒田 学・向井 啓二編手づくりの国際理解教育、クリエイツかもがわ、2008年、総ページ数189ページ

向井 啓二仏教社会福祉の過去・現在、龍谷大学人間・科学・宗教オープンリサーチセンターユニット3、2009年、総ページ数25ページ

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

〔その他〕

6．研究組織

(1)研究代表者

向井 啓二 (MUKAI KEIJI)
種智院大学・人文学部・准教授

(2)研究分担者

(3)連携研究者